

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果について

寒さの中にも春の兆しを感じられる頃となりました。皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校教育推進のため、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、平成27年度の「全国学力・学習状況調査」の結果につきましては、学校だより10月号の速報版でお知らせしたところですが今回は細かく分析した結果をご報告させていただきます。

尼崎市は、小学校42校の6年生計3463人、中学校19校の3年生計3118人が参加し、国語と算数(数学)、理科を実施しました。国語と算数(数学)、理科のいずれも平均正答率で全国平均を下まわりましたが、テストを初めて実施した平成19年度より差は着実に縮まっています。このような状況の中で、潮小学校はすべての項目が上回り、すばらしい成績を残すことができました。学習状況調査では、全87項目の質問に児童が答え、その結果をもとに学習定着度や学習状況について数字で表し、客観的に課題等を把握・分析できるようになっています。

これらの結果を受け、本校でも児童の学習定着度や学習状況について客観的に把握し分析しました。そして、今後の指導体制や学習方法、学習環境の工夫改善に役立たせたいと考えています。

今回の結果をもって本校のすべての学力・学習状況を表すものではありませんが、この結果を踏まえて、学校・家庭が学力向上や生活改善に向けて、いっそうの取り組みを進めなければなりません。今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(尼崎市の詳細につきましては、尼崎市教育委員会発刊の「あまっ子ぐんぐん第25号」をご覧ください。)

1 全国学力調査結果の概要 (1) 平成27年度の平均正答率

	潮小学校	兵庫県	全国
国語 A(知識)	78.0	70.1	70.0
国語 B(活用)	76.2	65.5	65.4
算数 A(知識)	81.5	75.2	75.2
算数 B(活用)	48.7	46.9	45.0
理 科	64.5	60.3	60.8

(問題A=身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など)
(問題B=知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力など)

(2) 各教科の考察

国語科に関しては、A・B問題ともにすばらしい結果となりました。特にB問題は全国水準を大幅に超えています。具体的には、漢字の読み書き等、基礎基本はもちろん話の内容に対する聴き方の工夫や文章の読み取り

などよくできていました。全体的に正答率の低い問題はありませんでした。1問だけ全国平均を下回ったのが主語を選択する問題でした。その他、正答率がやや低い問題については、問題量が多い中でじっくりと考える時間が足りなかったように感じます。決められた時間を有効に使えるようになることが課題と言えるのではないのでしょうか。そのためには、普段から問題慣れすることが大事です。

算数A問題では、多様な計算問題の正答率が高かったようです。逆に図形に関する問題の正答率がやや低かったようです。具体的には、二等辺三角形の特徴と円の性質とを関連づけて捉える問題ができていませんでした。B問題は全国水準を3.7%上回るのみで、算数科における応用力や活用力を伸ばすことは本校の課題と言えます。具体的には、「洗剤が20%増量して480mlで売られていました。増量前の洗剤の量を求める式と答えを書きましょう。」という問題の正答率が低くなっていました。また、図形と面積を関連づけた問題など思考力を問われる問題も正答率の低さを感じました。全体の問題からまとめると、①全体的に記述で答える問題の正答率が低い②記述問題の無答が多い③きちんと説明できずに不正解となる、以上の3項目が浮かび上がってきました。今後は、基礎基本の確実な定着と思考力の向上を図る必要があることがわかりました。

理科では、活用に関する問題が6問、知識に関する問題が6問出されました。活用に関する問題はすべて全国平均をわずかに上回っていましたが、知識に関する問題で「メスシリンダーの名称と使い方」など小学校の学習であまり使うことがないような用具に関する問題ができていませんでした。実験に関する問題はできていましたので、今後はあまり使用しないいろいろな用具でも意識して使用させるなど工夫が必要であると感じました。自然観察に関する問題はよくできていました。

2 学習(生活)状況調査(数値は「はい」「どちらかといえばはい」合計の%)

(8 7 項目の質問から大事な項目を抜き出しています。)

(単位は%)

質 問 内 容	H 2 7 潮小	H 2 7 兵庫県	H 2 7 全国
1 難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか	▽ 5 4 . 1	7 4 . 5	7 6 . 4
2 将来の夢や目標を持っていますか	▽ 7 5 . 0	8 6 . 4	8 6 . 5
3 自分には、よいところがあると思いますか	▽ 6 0 . 4	7 7 . 0	7 6 . 4
4 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	8 5 . 5	9 3 . 6	9 3 . 9
5 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▽ 8 1 . 2	9 3 . 9	9 3 . 7
6 学校に行くのは楽しいと思いますか	8 5 . 5	8 6 . 3	8 7 . 0
7 学校のきまりを守っていますか	8 3 . 3	9 0 . 7	9 1 . 1
8 家の人に学校の出来事について話していますか	8 1 . 3	8 0 . 5	7 9 . 5
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	9 3 . 8	9 6 . 2	9 6 . 2
10 今住んでいる地域の行事に参加していますか	6 2 . 4	6 3 . 8	6 6 . 9
11 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	▽ 4 8 . 0	5 9 . 2	6 2 . 8
12 家で、学校の授業の予習をしていますか	▽ 2 3 . 0	4 0 . 4	4 3 . 4
13 家で、学校の授業の復習をしていますか	▽ 3 3 . 3	4 6 . 7	5 4 . 5
14 授業では友達と話し合う活動は行っていましたか	8 3 . 3	8 4 . 7	8 5 . 2
15 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	8 7 . 5	8 6 . 9	8 6 . 7
16 授業の始めにめあてが示されていましたか	9 3 . 8	8 2 . 7	8 6 . 3
17 授業の最後に学習内容のふり返しを行っていましたか	△ 8 5 . 5	6 9 . 3	7 5 . 3
18 新聞を読んでいますか	3 1 . 3	2 5 . 9	2 3 . 7
19 国語の勉強は大切だと思いますか	▽ 7 9 . 2	9 1 . 0	9 2 . 0
20 国語の勉強は好きですか	5 8 . 3	6 0 . 0	6 1 . 1
21 読書は好きですか	6 6 . 6	7 1 . 2	7 2 . 8
22 算数の勉強は好きですか	△ 7 5 . 6	6 3 . 0	6 5 . 6
23 算数の勉強は大切だと思いますか	▽ 7 9 . 1	9 2 . 7	9 3 . 1
24 算数の問題が分からない時あきらめずにいろいろな方法を考えますか	▽ 6 8 . 8	7 9 . 1	7 9 . 6
25 理科の勉強は好きですか	8 3 . 3	8 2 . 0	8 3 . 2
26 観察や実験を行うことは好きですか	9 1 . 7	8 9 . 1	9 0 . 1
27 理科授業の学習を普段の生活の中で活用できないか考えますか	7 3 . 0	6 5 . 5	6 9 . 3

* 項目 14~17 は 5 年生までの授業、▽ は全国より 10% 以上低いもの、△ は 10% 以上高いものです。

〈学校生活〉

学校に行くのは楽しいと回答した児童の割合は 8 5 . 5 % で、おおむね学校は好きと考えることができます。

〈国語・算数・理科の学習に関する関心、意欲、態度について〉

学力調査が高得点の割に各教科の関心・意欲・態度の割合がやや低かったようです。特に「国語・算数の勉強は大切だと思いますか」については全国と比べ低いようです。児童にとって「好き・大切」ということが学習の関心、意欲、態度を奮い立たせる要因です。今後は児童に自信を持たせること、自尊心(本校は全国平均より低いです)を高めることが本校の大きな課題です。

〈基本的な生活習慣〉

表にはのせていませんが、生活習慣で 3 点気になることがあります。①毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童が少ない、どちらかと言えば寝る時間が遅いです。②1 日あたりテレビやビデオ・DVD を観たり聴いたりする時間が 2 時間以上の児童が約 7 0 % います。③1 日あたりゲームをする時間が 1 時間以上の児童が約 7 0 % います。今後は少しでも読書や復習等の時間にあててほしいと思います。生活リズムでも呼びかけていますので大切にしていきたいものです。

〈家庭学習〉

「家庭において自分で計画を立てて勉強をしている」児童は少ないようです。家庭学習のあり方(予習・復習も含め)も考えたいと思います。家庭学習の時間が長いほど、学力の伸びも比例しています。家庭学習の仕方や内容については、中学年でしっかり身につけたいものです。

今後は①家庭学習の計画をしっかり立てること②自主学を利用して予習復習にも力を入れること。これらの家庭学習の取り組みを推進したいと思います。

〈地域や家庭のつながり〉

市制 1 0 0 年を迎える今年です。「知れば知るほど尼がすき」を合い言葉に自分の住む町、地域を愛する気持ちを育てたいものです。本校地区は地域行事も多くありますので、地域行事へも積極的に参加してほしいと思います。また、心の教育を育むためにも地域や家庭の教育力やコミュニケーション力は大きな力となります。

3 今後に向けて

小学校では、生活規律の確立はもちろんですが、中学校進学に向けて学習の基礎基本をしっかり身につけることが求められます。そのためには、学校だけではなく家庭生活や家庭学習も大事なポイントとなってきますので、今後ともお子様の教育活動へのご協力をお願い致します。

